

安心して生活できる環境を



画像検査装置を製作する
ベトナム出身の外国人材
ホアンさん



株式会社柴田合成

業種：製造業

所在地：甘楽郡甘楽町

従業員数：121名うち外国人材30名(申請時点)

(技術・人文知識・国際業務：10名、

特定技能：13名、技能実習：7名)(国籍：ベトナム)

HP：<http://www.shibatagousei.co.jp/>

① 外国人材採用のきっかけ

近年の全国的な若年人口の減少により、日本人の若者の採用に苦悩するようになりました。そういった背景から、海外に目を向け、海外の優秀な若者を採用したいと思い、地元NPOの後押しもあり、2018年度より外国人材の採用を開始しました。

② 採用当初の反応

採用当初の不安

採用開始当初は、コミュニケーションや文化の違いによる不安・心配がありました。しかし、実際に来てくれた外国人材は非常に勤勉で真面目、勉強熱心で日本語もすぐに習得してくれました。そのため、当初の心配はすぐに払しょくされました。

日本人社員の反応

若い日本人社員の採用に短期的な空白があったこともあり、外国人材の採用は、日本人社員も歓迎してくれました。また、遠くの地からやってきてくれた彼らへの感謝の気持ちも強くありました。

**3****POINT!****外国人材の生活を支える手厚い支援体制****来日前から寄り添う取組**

採用決定後は来日前に家庭訪問やリモート面談を行っています。コロナ禍以前の家庭訪問では、ご家族にも直接お会いしていました。来日する外国人材だけではなくそのご家族にも安心していただくことを心がけています。

来日後の充実した生活支援

来日後の生活支援として、会社が住居の確保や生活家具の準備等を行っています。またグループ会社と地元 NPO で共同設立した『グローバル人材生活安心パック』により、外国人材の行政手続きへの同行や医療通訳の派遣等、関連機関と連携した生活支援も行っています。

外国人材の中には病院に行き辛さを感じる人もいます。会社として、体調不良の時は積極的に医療機関にかかって欲しいという思いがあるので、日本人社員が医療機関に同行し、サポートしています。



製品検査をするベトナム出身外国人材のタオさん

日本の文化に触れ合って

群馬や日本を好きになって欲しいという思いがあるため、外国人材が地元の文化・行事に触れ合うことができる機会を積極的に作り出しています。甘楽町からの紹介で、春には桜祭りに参加しました。彼らもとても楽しんでいる様子でした。

自治体ではこのようなイベント以外に、日本語教室や外国人向けの交通安全教室も開催されています。これらのイベントへの参加を促すことで、彼らが地元と触れ合える機会を提供しています。

横のつながりを意識して

採用当初、外国人材が1人では本人も不安であろうという思いから、1回の採用で複数の外国人材を採用していました。このように、外国人材同士の横のつながりを意識しつつ、会社としても彼らが会社に馴染むことができるように支援を行っています。



梱包作業をするベトナム出身外国人材のズンさん

4**技術支援と日本語支援****技術支援**

技術に関しては、日本人社員と同じような指導方法で彼らのスキルアップを支援しています。

自動化設備や金型設計は先輩からマンツーマンで、指導しています。ライン作業などは、誰もが見てすぐにわかるように写真や記号を使ったマニュアルを作り、基準を示しています。

また、技能実習生

の特定技能への移行に関しては、実演等試験合格に必要な部分を現場で指導する形で支援しています。

日本語支援

外国人材には来日前に半年間日本語の勉強期間を設けています。

社内のコミュニケーションがうまくいかない場合は、日本語が得意な外国人材を通じて、また、翻訳アプリも積極的に活用しながらコミュニケーションをとっています。



5

POINT!

外国人材の活躍



画像検査装置を製作する
ホアンさん

外国人材からの よい影響

外国人材の存在は日本人職員にとっても良い影響となっています。外国人材が日本語や日本

のマナーを一生懸命に学ぶ姿を見て、日本人職員も**自己研磨に励む意識が醸成**されています。

自動化に貢献

本社工場の移転に伴い、製品製造機械の自動化整備を行いました。その自動化整備をメインで担当したチームには外国人材も含まれ、彼らが主体となって自動化を進めました。

これにより、一部作業が無人化され、省力化に成功しました。また、ユニットバス事業においても、自作機械の製造により省力化を実現しました。



自動化された機械が並ぶ
柴田合成本社工場内部の様子

6

外国人材と共創する上で 意識していること

特に言葉と生活、外国人材が困った時の対応を大切にしています。そして、地域の人にもっと外国人材が受け入れられてほしいという思いから、積極的な地元イベントへの参加を促しています。文化の違いにより地域になかなか受け入れられていないという事例があることも知っています。

今後はそのような外国人材に対する人々の考えを払しょくできるような取組を続けていきたいと思っています。

VOICE

株式会社柴田合成 総務部 課長 堀内 千早 さん



大切なことは、「日本では若者が少なくなっている」という意識をもって、どうすれば日本に来てくれるか、どうしたら安心して生活できるか、どうしたら仕事にやりがいを感じてくれるか、彼らと目線を合わせて、理解することで、彼らも安心して働くことができる環境になるのではないかと思います。

VOICE

ズオン スアン ホアンさん(ベトナム出身)



日本に来る前は言葉や生活の面がとても心配でした。ですが、会社が住まいの準備や買い物の支援など、日本の生活に慣れるまでサポートしてくれ、とても助かりました。

チャン アイン ヴィンさん(ベトナム出身)



何か困ったことがあれば会社の人々が熱心に教えてくれます。買い物などの日常生活の支援だけでなく、各種行政手続きのサポートもしてくれます。